

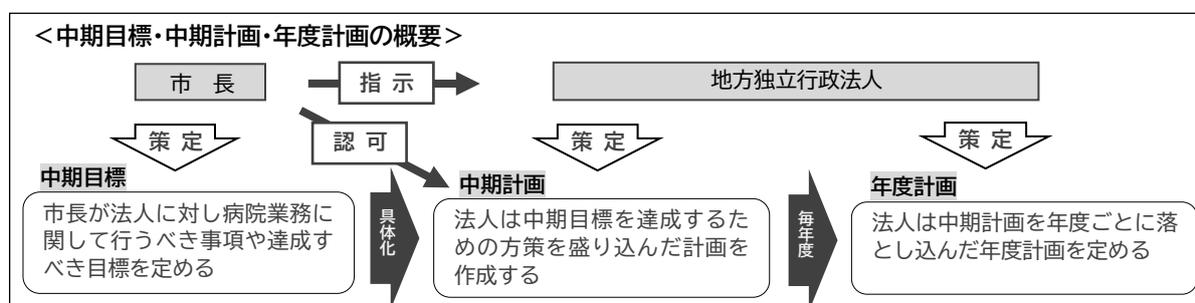
報告第17号関連資料

地方独立行政法人明石市立市民病院の

経営状況(2025年度事業計画)の報告について

1 2025年度事業計画（年度計画）の位置づけ

地方独立行政法人明石市立市民病院の年度計画は、市が示した中期目標の達成に向けて市民病院が作成した中期計画に掲げた方策のうち、各年度に実施する事項を定めたものです。今年度は、第4期中期目標・中期計画期間(2023.4.1～2027.3.31)の3年目にあたります。



2 2025年度事業計画（年度計画）の概要

2025年度においては、市民に必要な医療を安全に提供できるよう、地域の医療、介護、福祉関係機関等との連携を強化しながら、急性期機能の強化を図り、より質の高い医療の提供を目指します。

また、厳しい経営状況下において、将来にわたり持続可能な病院経営により、市民の安全・安心の確保を図るため、医療の質の向上による医業収益の確保を図るだけでなく、労働生産性の向上を図り、経営改善をめざすとともに、将来的な病院再整備を見据えた財務計画のもと、安定した経営基盤の確立に向けた取り組みを進めます。

(1) 主な取り組み

- ① 急性期医療の強化とチーム医療の推進による高度な総合的医療の提供
- ② 地域の医療機関および介護福祉関係機関との連携強化による、地域完結型医療の推進
- ③ 診療実績の向上および、支出管理の徹底等による黒字の確保と経営改善
- ④ 医療的ケア児等の後方支援の充実や病児保育室の運営など、政策医療への貢献
- ⑤ 将来的な病院再整備を見据えた財務計画ならびに投資計画の見直し

(2) 収支計画

(単位：百万円)

項目	2019年度 実績額*1	2023年度 実績額	2024年度 実績見込額	2025年度 収支計画
営業収益	8,576	8,881	8,648	9,381
医業収益	7,600	7,695	7,740	8,423
営業費用	8,218	8,642	9,035	9,070
医業費用	7,976	8,270	8,637	8,690
うち給与費	4,531	4,668	4,804	4,825
うち材料費	1,822	1,748	1,877	1,933
一般管理費	242	373	398	380
純利益	132	▲76	▲691	16

*1 参考値として新型コロナウイルス感染症拡大前(2019年度)の数値を掲載

(3) 主な数値目標

項目		2019年度 実績値*1	2023年度 実績値	2024年度 実績見込値	2025年度 目標値	第4期 中期計画 目標値
職員	常勤医師数	58人	62人	66人	70人	75人
救急	救急車による搬入患者数	3,164人	3,595人	3,948人	4,000人	3,800人
	救急車お断り率	19.8%	23.2%	24.5%	20.0%	20.0%
地域連携	紹介率	78.7%	88.5%	88.0%	85.0%	80.0%
	逆紹介率	83.6%	86.9%	95.2%	90.0%	85.0%
入院	一日平均入院患者数	259.2人	257.9人	246.5人	265.0人	279.0人
	新入院患者数	7,377人	6,265人	6,482人	7,500人	7,800人
	入院診療単価(急性期)	62,075円	68,457円	70,211円	67,400円	65,000円
	入院診療単価 (回復期リハビリテーション病棟)	30,364円	34,223円	34,887円	35,000円	33,000円
	急性期機能病棟稼働率	77.9%	75.9%	73.5%	79.8%	84.0%
	地域包括ケア病棟稼働率	80.6%	84.8%	74.3%	86.0%*2	86.0%
	回復期リハビリテーション病棟稼働率	83.7%	93.7%	93.0%	93.3%	95.0%
外来	一日平均外来患者数	551.5人	471.1人	469.2人	489.5人	540.0人
	外来診療単価	17,007円	16,853円	17,796円	18,000円	17,000円
財務諸表	材料費対医業収益比率	24.0%	22.7%	24.2%	23.0%	21.5%
	経費対医業収益比率	15.8%	17.1%	17.8%	16.2%	15.6%
	人件費対医業収益比率	62.3%	64.8%	66.3%	61.3%	63.3%
	經常収支比率	101.7%	99.2%	92.7%	100.2%	100.0%
	医業収支比率	95.3%	93.1%	89.6%	96.9%	96.5%
	修正医業収支比率	92.5%	89.0%	85.7%	92.9%	93.5%
	資金期末残高(理論値)	1,736百万円	5,236百万円	4,685百万円	4,700百万円	4,882百万円

*1 参考値として新型コロナウイルス感染症拡大前(2019年度)の数値を掲載

*2 病床機能見直し中のため中期計画目標値を掲載

<用語解説>

紹介率・逆紹介率

紹介率とは、初診患者のうち、他の医療機関からの紹介状をもって受診された患者の割合を示す指標。また、逆紹介率とは、初診患者のうち、他の医療機関に紹介した患者の割合を示す指標。

初期診療や慢性の継続診療などは「かかりつけ医」を受診し、専門的な検査や診察、入院が必要な治療と判断された場合に紹介状持参で病院を受診する、そして、治療を終え症状が落ち着いたら「かかりつけ医」へ紹介し、治療を継続または経過を観察する、これを地域全体として行うことで、地域の医療連携が強化される。

回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の身体的障害を持つ患者や機能低下が見受けられる患者に対して、ADL（Activities of Daily Living：日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作）の向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行うための病棟。

<急性期> 病気を発症し症状が比較的激しい時期。状態の早期安定化に向けた医療を提供する。

<回復期> 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリを提供する。

地域包括ケア病棟

急性期の治療が終了し病状が安定したものの、すぐに自宅や施設での療養に移行するには不安のある患者さんに対してしばらくの間、入院療養を継続し、在宅復帰に向けての準備を行う（ポストアキュート）ほか、在宅や介護施設にいる患者の急性増悪時に入院医療の提供を行う（サブアキュート）ことを目的とした病棟。

在宅復帰支援の計画に基づき、主治医をはじめ看護師、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー（MSW）等が協力し、在宅復帰に向けてのサポートを行う。

（財務指標関連）

材料費対医療収益比率 医療収益のなかで材料費が占める割合を示す指標。

経費対医療収益比率 医療収益のなかで委託費や光熱水費などの経費が占める割合を示す指標。

人件費対医療収益比率 医療収益のなかで人件費（職員給与費）が占める割合を示す指標。

経常収支比率 医療費用、医療外費用に対する医療収益、医療外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を示す指標。

医療収支比率 $\text{医療収益} \div \text{医療費用} \times 100$
(病院の本業である医療活動から生じる医療費用に対する医療収益の割合を示す指標)

修正医療収支比率 $\text{医療収益} \div \text{営業費用} \times 100$

資金期末残高 手許資金に加え定期預金や有価証券(額面額)を含む資金期末残高。